

平成 19 年度 事務事業評価票

部課担当	教育 生涯 生涯学習
整理番号	513 (昨年度) 405

評価対象事務事業名	明るい青少年都市推進事業			
第5次半田市 総合計画 における位置付け	(章) 施策の大綱	(4) 創造性と賑わいを生み出すまちづくり		
	(節) 基本目標	(1) 生涯にわたる学習の推進		
	(項) 基本方向	(4) 青少年の健全育成		
	(目) 基本事業			
主要施策成果報告	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載事業の場合チェック【評価票作成事業(裏面記載あり)】			
実施計画及び 事業見直しのための 施策との関連	<input type="checkbox"/> 3か年実施計画関連事務事業 <input type="checkbox"/> 第3次半田市行政改革推進計画・日常業務改善計画関連事務事業			
類 型 種 別	ソフト事業			
対 象 (事業の直接の対象 である人やもの)	青少年およびその保護者			
事務事業の活動内容 (目的達成のための 具体的な事務事業 の内容、手段、手順)	青少年健全育成啓発活動の実施 「家庭の日」の普及と事業の実施 青少年健全育成協力店の整備 子ども110番の家の整備 青少年健全育成団体への活動費補助事業 中学校区単位での環境浄化活動			
事務事業の目的 (対象をどのような状 態にしたいのか)	青少年が心身ともに健やかに育つ環境作り			
事務事業 を取巻く 環 境	背景・状況	少年犯罪の粗暴化、凶悪化、薬物の乱用、性の問題等青少年を取り巻く環境は悪化の一途をたどっている。このような背景には社会環境の変化や価値観の多様化があり、大人も含め社会全体で改善していかなければならない問題である。		
	住民の 意見等 ・要望 ・苦情等			
事務事業の 経費の 状況	項 目	平成 19 年度決算額	備 考	
	事業費	事業費(人件費を除く)	3773 千円	うち団体活動補助2560千円
		人件費	2146 千円	正規職員 0.30 人分 + 臨時職員 0.00 人分
		総事業費	5919 千円	
	財 源	国庫・県支出金	0 千円	
		受益者負担金	0 千円	
その他特定財源		0 千円		
一般財源	5919 千円			
単位あたり コスト等の 算定	内容説明	算定式	19 年度算出値	昨年度算出値
	家庭の日普及事業のポスター1枚あたりの募集に要した経費	(事業費73千円+人件費215正規0.03) ÷ ポスター応募:2404件	119 円 / 1枚	102 円
	青少年健全育成団体への活動費補助金交付に要した経費	(事業費2560千円 + 人件費144正規0.02) ÷ 33団体	81940 円 / 1団体	82000 円
			/	
			/	

事務事業の成果と課題

評価対象事務事業名	明るい青少年都市推進事業	整理番号	513	ソフト事業
1. 成果（事業を実施した結果、目的に向かって、対象はどのような状態になったのか、その達成状況はどうか）				
<p>少年を守る会及び青少年健全育成団体の協力を得て、夏期冬期年3回の街頭啓発でのチラシ等配布により青少年健全育成について、市民に意識づけができた。また「家庭の日」強調月間である2月には、市内小中学校から応募のあったポスター、標語を市内公共施設に展示するとともに、空の科学館プラネタリウムの1日無料開放を実施し、家庭の日の普及を図った。</p>				
2. 事務事業評価基準による点検(事業のあり方を複数の視点により点検します。)				
(1) 必要性（事業類型 経常的事務事業、内部管理運営事務、各課庶務事務は本項目は省略します。） 「市の関与」及び「事業の妥当性」の観点から事業自体の必要性を点検します。				
市の関与の必要性	市が行うべき事業である			
事業の妥当性	事業の継続実施に妥当性がある			
(2) 効率性（全類型） 「実施主体」及び「経済性・手法」の妥当性の観点から、効率性を点検します。				
実施主体の妥当性	現行の実施主体で行うことが効率的である			
「実施主体」とは、市直営、外郭団体、民間企業、市民活動団体などのことをいいます。				
経済性・手法の妥当性	コストを低減できる余地がある			
(3) 有効性（事業類型 各課庶務事務は本項目は省略します。）				
事業の目的に対する有効性	現行の実施方法が有効である(成果を向上させることができる)			
上位施策(総合計画等)への貢献度	上位施策への貢献度 中			
3. 課題・問題点(成果向上のための)				
街頭啓発活動等については、各種団体、市民の協力を得て実施しているが、より効果的な啓発方法について検討する余地があると考える。				
4. 課題・問題点に対する方策(複数選択あり)				
<input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 活動内容の手段・方法の変更 <input type="checkbox"/> OA化などの事務改善 <input type="checkbox"/> 人員投入量の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 市民との役割分担・協働 <input type="checkbox"/> 民営化・外部委託化 <input type="checkbox"/> 補助金等の見直し <input type="checkbox"/> 執行体制の改善(組織統廃合、簡素化) <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> その他				
<p>具体的な方策 啓発資材の検討などにより、もっと市民に青少年健全育成について感心を持ってもらえるような街頭啓発の検討。</p>				